

第 2 2 回議会運営委員会記録

【開催日】 令和 2 年 4 月 2 0 日 (月)

【開催場所】 第 1 委員会室

【開会・散会時間】 午前 1 0 時から午前 1 0 時 3 6 分まで
午前 1 0 時 1 2 分 (休憩) 午前 1 0 時 2 5 分 (再開)

【出席委員】

委員長	笹 木 慶 之	副委員長	長谷川 知 司
委員	伊 場 勇	委員	奥 良 秀
委員	河 野 朋 子	委員	高 松 秀 樹

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	小 野 泰	副議長	矢 田 松 夫
----	-------	-----	---------

【執行部出席者】

なし

【事務局出席者】

事務局長	尾 山 邦 彦	事務局次長	石 田 隆
主査兼庶務調査係長	島 津 克 則	議事係長	中 村 潤之介
議事係書記	原 田 尚 枝		

【付議事項】

- 1 令和 2 年第 1 回 (4 月) 臨時会に関する事項について
 - (1) 会期案について・・・資料 1
 - (2) 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の委員の確認について
 - (3) 特別委員会の設置について
 - (4) 山陽小野田市議会委員会条例の一部改正について
 - (5) 人事案件について
 - (6) 議事日程案について・・・資料 2
- 2 その他

【議事の概要】

1 令和2年第1回（4月）臨時会に関する事項について

(1) 会期案について・・・資料1

・4月24日（金）から4月28日（火）までの5日間とすることとした。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の委員の確認について

・総務文教常任委員会から、伊場勇委員、長谷川知司委員、山田伸幸委員。

民生福祉常任委員会から、水津治委員、松尾数則委員、吉永美子委員。

産業建設常任委員会から、藤岡修美委員、高松秀樹委員、宮本政志委員。

以上、9人の委員で構成することを確認した。

(3) 特別委員会の設置について

・事務局から、「全議員一致の議案として、申し合わせ事項27により副議長が提出者、議運の委員全員が賛成者となり、4月24日の本会議に提出し、委員会付託を省略し、即決となる。そして、本会議を休憩し、特別委員会を開催し、正副委員長の互選を行う。その後、本会議を再開し、議長から、正副委員長の選任報告を行う」との説明があり、了承された。

(4) 山陽小野田市議会委員会条例の一部改正について

・事務局から「全議員一致の議案として、申し合わせ事項27により副議長が提出者、議運の委員全員が賛成者となり、4月24日の本会議に提出し、委員会付託を省略し、即決となる」との説明があり、了承された。

(5) 人事案件について

・事務局から「申し合わせ事項62により、委員会付託を省略し、即決となる」との説明があり、了承された。

(6) 議事日程案について・・・資料2

・事務局から議事日程案の説明があり、了承された。

2 その他

・事務局から「新型コロナウイルス感染症対策の予算が出た場合に、特別委員会で審査をするのか、それともそうではないのか。審査するのであれば、特別委員会で直接予算を審査するのか、それとも分科会で審査するのか。特別会計でもコロナの対策の予算が出てきた場合に、どの委員会で審査するのか」との発言があった。

- ・長谷川知司副委員長から「コロナの分科会で審査したらいいと思う。特別会計については、担当委員会で審査したらいいと思う」との発言があり、了承された。
- ・笹木慶之委員長から「一般質問の取扱いについて、会派に持ち帰っていただいていたので、意見を求める」との発言があった。
- ・奥良秀委員から「一般質問は議員の権利だが、中止はちょっと問題があると思う。こういう時勢からも考え、会派では緊急性を要さないものに関して自粛要請するという結論となった」との発言があった。
- ・伊場勇委員から「会派ではまだ結論には至っていないが、緊急性がない場合はする必要はないと思う。また、緊急性の有無は、議員個人の考えの違いなどいろいろあると思い、まだ結論が出ていないが、70分という時間を少し短くしたらどうかといった意見も出ている」との発言があった。
- ・長谷川知司副委員長から「会派で話していないが、自粛要請を考えつつ、タイミングを逃してはいけない質問はやはりすべきだ」との発言があった。
- ・高松秀樹委員から「議運として一般質問の自粛を決定すべきである。定例会の仮日程は5日間もあるため、会派として、これそのものを自粛したほうがいいという結論に至った」との発言があった。
- ・河野朋子委員から「緊急事態の中で、これまでのような通常どおりの議会運営をしていくのはどうかということと、刻々といろいろな事情も変わっていくので、臨機応変に事態に合わせていく必要があると思う。ただし、こうすべきってというような結論にまでは至っていない」との発言があった。
- ・笹木慶之委員長から「まだ意見が統一されていないので、次回の議運に持ち越す」との発言があり、了承された。
- ・事務局から「別紙の議席表のとおり、端から一人ずつ間隔を設けている。また、議案に関係する部署の方は、市長部局の席に全部寄せて一人ずつ間隔を設けて座っていただくようにした」との説明があり、了承された。

令和2年（2020年）4月20日

議会運営委員長 笹木慶之